

令和4年度 広島製菓専門学校 学校関係者評価委員会
日 時：令和4年8月29日 月曜日 17:45~18:15
場 所：株式会社 ポストン
参加者：古澤・品川・栗栖
<p>学生の募集状況について</p> <p>1) 現在の製菓関係の学生の状況について</p> <p>委員からの意見</p> <p>学生募集の状況について</p> <p>学校</p> <p>近年学生数が低迷しており、特にコロナ禍の期間は非常に厳しい状況であった。全国的な製菓業界への希望者が極端に減っているわけではなかったため、危惧するところであった。</p> <p>コロナも3年目となった今年度は、感染対策をしつつ、コロナ前のようなイベントや体験入学、高等学校への訪問を行った。また、テレビCMも再開した。直接的な効果は不明であるが、次年度（令和5年度）の入学生は今年度と比べて大きく改善したといえる。</p> <p>今後も、学校の良さを体験入学や高等学校への訪問でアピールしていきたいと考えている。</p> <p>2) その他PRについて</p> <p>委員からの意見</p> <p>学校の特徴や良さを知ってもらう工夫はどうしているか。</p> <p>学校</p> <p>学校側の情報発信源としては主にHPを活用している。しかし、現在の学生はSNSなどスマートフォンが中心であるために、今後はその対応も考えなければならないと思っている。これに関しては次年度の課題であると認識している。</p> <p>財務状況について</p> <p>学校からの説明</p>

昨年度に続き、少子高齢化の中で古沢学園としての財務状況は、良いと思われる。しかしながら、今後の少子化の加速を考えると注意が必要である。広島製菓専門学校として今年度は、コロナ禍での学生募集の現状で厳しい状況ではあるが、次年度の募集状況を考えると、改善が見込まれるのでこれを維持するよう努めたい。

委員からの意見

学生募集の改善は非常に良い事だと思う。学校の収入は学費がメインだと思うので、継続的な学生募集の対策が必要と感じる。

学生に選んでもらえる様な学校になって欲しい（魅力ある）

もちろん、業界としても、将来の職業としての魅力を得られるようにしたい。

自己点検・自己評価について

委員からの意見

自己点検・自己評価の結果について、現時点でこちらから具体的に何か改善を求めることは無いように思えるが、小さなことでも改善すべき点があれば積極的に対応してほしい。

学校

自己点検評価内容につて、現状で対応ができにくい部分もあるが、長期的に考えても必要な部分もあると思うので改善に努めたい。

コロナ禍での学校運営について

学校

3年目に入ったコロナ禍において、授業等は通常に近い方法で展開している。もちろん、感染には留意している。

とは言え、実習の非常勤講師や特別講師は以前に比べて元に戻っているとは言えない。

また、コロナ禍におけるインターンシップ等に関しても、企業的にどう考えているかを知りたい。

委員からの意見

お店によっては従業員等の感染で苦慮するケースもあるが、インターンシップに関しては過剰に考える必要は無いと思う（個人的意見ではあるが）
コロナ前と同様とはいかないまでも、昨年よりも緩和しても良いのでは無いだろうか。

その他

業界等の現状等の意見交換を行なった。